九州の街特集

佐賀の街

新工業用地を核に発展

企業誘致で産業底上げ

佐賀県は工業用地「新産業集積エリア」を製造業振興における拠点と位置付ける。地域の産業振興は地場企業の努力に加えて、企業進出による力も大きいためだ。佐賀県、地元自治体ともに、製造業をはじめとした地域の中核的存在となる企業の進出に期待を寄せる。

現在、新産業集積エリアは唐津第1期と武雄を分譲中。2014年度以降に唐津第2期と有田、鳥栖の整備を予定。進出企業は事業税を進出5年まで全額免除、同6―10年まで50%免除などの佐賀県の支援を受けられる。また全国に先駆けて導入した「企業誘致パーマネントスタッフ」制度は、佐賀県担当者が進出企業を永続的にフォローアップする。異動しても引き続き窓口となり、進出企業の安心につなげる。

佐賀は地震が日本一少ない上に、陸の要衝・鳥栖市があり陸上物流の優位性が高い。海上物流では国重要港湾の伊万里港、空路では上海便が就航する佐賀空港がある。進出を考える企業は地域性や市の支援制度など選択肢は豊富だ。

バルーンフェスタ〈佐賀県観光連盟提供〉

観光・生活に高い満足度

佐賀には海あり山ありの豊富な自然のほか、休日やオフタイムを充実して過ごすことができる観光スポットやイベントが多い。ゴールデンウイークと秋には日本最古の磁器産地・有田の陶器市がにぎわう。10月末に佐賀の空を気球が埋め尽くす「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」は圧巻だ。

またプロサッカークラブ「サガン鳥栖」が12年からJ1リーグに昇格。鳥栖市では熱戦が見られる。サッカー観戦と一緒に買いものを楽しむなら「鳥栖プレミアム・アウトレット」。体を動かしたい人には県内各地にゴルフ場がある。

観光地を巡った後は日本三大美肌の湯「嬉野温泉」をはじめとする温泉が疲れを癒やしてくれる。高級牛肉・佐賀牛や、県内各地で醸造される地酒もある。富久千代酒造(鹿島市)の「鍋島大吟醸」は世界一の日本酒に認定された。食後の別腹も「シュガーロード」由来の種類豊富な菓子で満腹になる。

生活面では唐津市内に早稲田大学系属の「早稲田佐賀中学校・高校」が10年に開校した。同大学創設者の大隈重信は佐賀出身だ。医療機関では13年春に最先端がん治療施設、九州国際重粒子線がん治療センター「サガハイマット」が開業の予定。また佐賀大学医学部は人工関節手術においては国内トップクラスを誇るなど高度技術を持つ。

佐賀空港は東京便と格安航空会社の上海便が飛ぶほか、JR新鳥栖駅からは新幹線で大阪まで直通だ。首都圏や関西圏と物理的距離はあるが、発達した交通インフラを使えば遠くはない。むしろ距離があるからこそ、佐賀だけが提供できるメリットがありそう。

用地取得に6億円補助
武雄市

武雄北方インター(手前)と工業用地(奥)

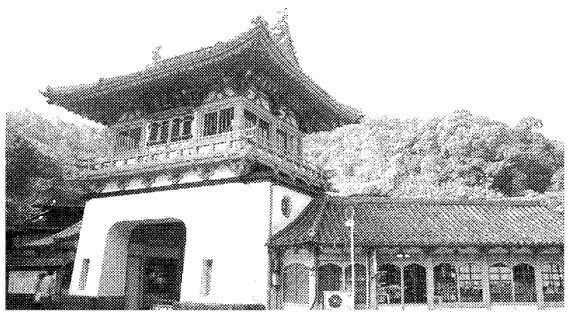
「武雄北方インター工業団地(新産業集積エリア武雄)」は、用地面積約18ヘクタールと佐賀県内で分譲中の用地としては最大規模だ。九州西部の陸路の要衝・武雄市に立地し、長崎自動車道の武雄北方インターチェンジとは1・5キロメートルの距離にある。武雄市による最大6億円の用地取得補助金交付など、全国的にも好条件の用地だ。

武雄市は11年に企業誘致にかかる補助制度を大幅に改正。佐賀県の補助と合算すれば、最大40億円にのぼる補助金が交付されることになった。固定資産税は進出5年まで全額免除、同6―10年まで50%免除。雇用奨励金として市内在住の新規雇用者200人分まで50万円を支給する。総額の上限は1億円だ。

また年利1%を限度に、新増設資金1億円までにかかる金利相当額を3年間交付。このほか水道料など7項目から、上限5000万円以内で補助を選択できる。武雄市では「全国トップレベルの優遇措置だ」と胸を張る。

インフラ面では市内に高速道の武雄ジャンクションがあり、長崎と佐世保、福岡各方面への分岐点となっている。市内3カ所のインターチェンジを通して、各方面や港湾など物流施設へ良好なアクセスを確保できる。JR武雄温泉駅は10年後に開業予定の九州新幹線長崎ルートの停車駅。物流に加えて人の流れの利便性向上にも期待は高まる。

【武雄市】「佐賀のがばいばあちゃん」のドラマロケ地で有名になった。1300年の歴史を持つ温泉が湧く。観光客を迎える楼門と武雄温泉新館は国重要文化財で、東京駅で知られる建築家・辰野金吾の設計。若楠ポークや武雄焼などが名産。


武雄温泉楼門〈佐賀県観光連盟提供〉

電力料金を1/4還付
唐津市

第1期分(右)と第2期分が左奥に控える。手前は浪瀬インター

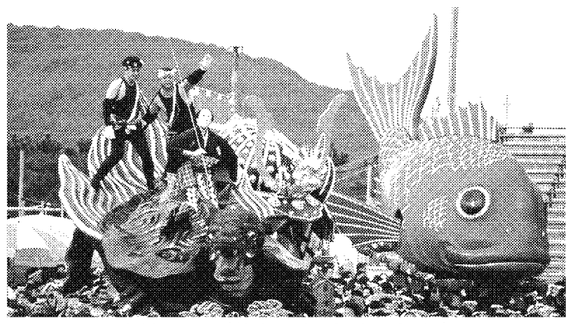
唐津市にある「新産業集積エリア唐津」は現在第1期にあたる用地面積約11ヘクタールを分譲中。高規格道路の厳木バイパス浪瀬インターチェンジに隣接。福岡市方面へ向かう西九州自動車道唐津インターまで16キロメートル、長崎自動車道多久インターまでは8キロメートルの距離だ。鳥栖インターへは約30分で着く。15年度には第2期分18ヘクタールの分譲を開始する予定。

固い地盤に加えて建ぺい率と容積率の指定がなく、緑地・環境施設面積率の下限が1%と自由度が高い。また県のほぼ中央にあるため県全体から人材確保が見込める。また同用地がある旧厳木町は「原子力発電施設等周辺地域企業立地支援補助金(F補助金)」対象地域。現時点では12年度内の電力供給開始が条件だが、最大8年間にわたり電気使用料が4分の1還付される。全国的にも同補助金の対象地域は少ない。

唐津市独自の優遇措置では、大企業と中小企業のそれぞれに向けた支援策で細かなニーズに対応する。大規模投資向けでは固定資産税を進出5年まで全額免除、同6―10年まで50%免除にする。それぞれ最大2500万円の雇用奨励金と配置転換者等奨励金など年間補助する。

さらに唐津市では「企業ニーズに応じて補助金を含めた優遇措置新設も検討する」と柔軟な姿勢で企業を迎える。

【唐津市】豊かな漁場である玄界灘に面するほか、山間部もある。「唐(中国・韓=から)の津(港)」という地名の通り大陸との交易で栄えた。日本三大松原「虹の松原」や唐津城など街並みは風光明媚(めいび)で、11月は「唐津くんち」に沸く。


唐津くんち〈佐賀県観光連盟提供〉

日本建設技術

第14回日本水大賞 未来開拓賞を受賞

日本建設技術は廃棄ガラスを原料として再利用した発泡廃ガラス「ミラクルソル」を開発し、水質浄化材や岩盤緑化の保水材、軽量盛土材など建設資材に幅広く活用している。このミラクルソルにおいて、発泡剤の種類や添加量によって吸水タイプのものと、非吸水タイプのものを製造できることが日本建設技術の技術力の優れた点。吸水タイプのミラクルソルは浄化の微生物がすみ着く面積が従来のプラスチック濾過材よりも1000―1000倍の面積を持つため、水環境の浄化に非常に有効であることを佐賀大学と共同研究で解明した。その「ミラクルソル」を用いてダム流入河川水の浄化や公園親水池のアオコ対策と透視度の改善、ビオトープ循環水の浄化、食品加工廃水処理、錦鯉養殖用飼育槽の水質浄化などの使用実績があるほか、濾過材として12カ国へ輸出している。その実績、活動が第14回日本水大賞の未来開拓賞に評価され受賞となった。

ミラクルソルできれいになったじゃぶじゃぶ池で遊ぶ子供達

宮島醤油

地域の経済、教育、文化に貢献

宮島醤油は1882年(明治15)6月、七世宮島傳兵衛が佐賀県唐津市において醤油の醸造所を創業したことに始まり、今年で130周年を迎えた。

醤油、味噌醸造における伝統的発酵技術を基礎としながら、現在では、粉末スープ、液体スープ、焼肉のたれ、ドレッシング、スパイス、缶詰、レトルト食品、冷凍食品などさまざまな分野の食品の製造、販売を行っている。

近年は地元産原料を使い、商品を開発する「地産地工(ちさんちこう)」に力を入れている。佐賀県産の穀物を原料として発酵、熟成させた「佐賀のしょうゆ」「佐賀無添加みそ」や佐賀のブランド牛「佐賀牛」を使用した「佐賀牛カレー」を発売した。

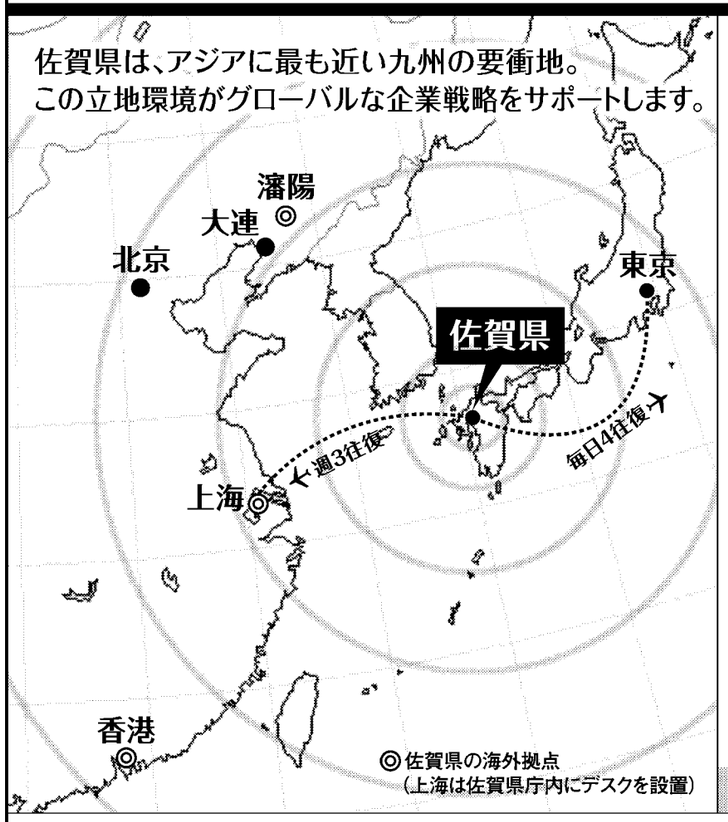
9月には新たに「佐賀牛シチュー」を発売する。佐賀県産、九州産の食材を活かした食品を全国へ、優れた国産食材を生かした食品を世界へと飛躍させる。

地域社会からの支えがなければ、企業が100年以上も活動を続けることはできない。今後も一層深く地域の経済、教育、文化に根ざした会社を目指す。

佐賀牛シチュー

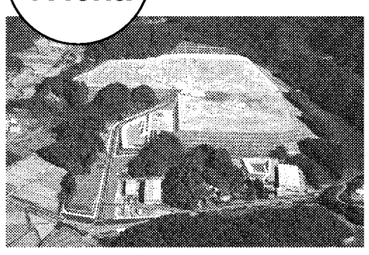
アジアを見据える九州のクロスポイント、佐賀県。

佐賀県は、アジアに最も近い九州の要衝地。
この立地環境がグローバルな企業戦略をサポートします。



『地震が少ない佐賀県』
リスク分散に最適な立地環境を提供します!

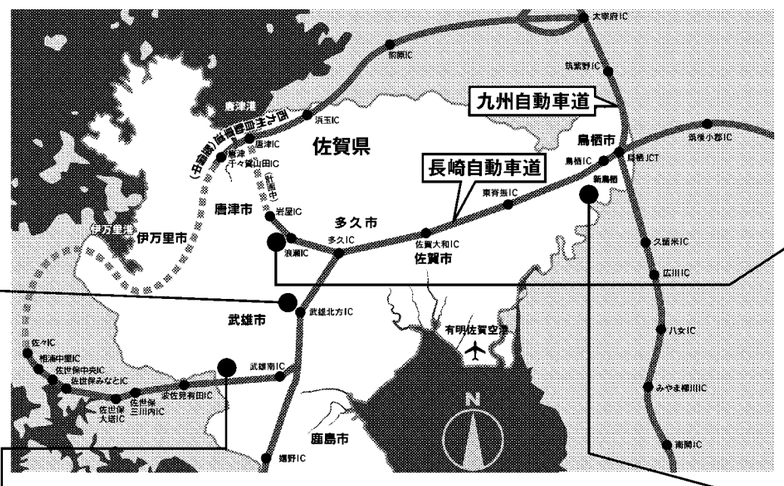
有効面積 17.6ha



新産業集積エリア武雄
(武雄北方インター工業団地)
◎インター直近、豊かな自然の中の空間

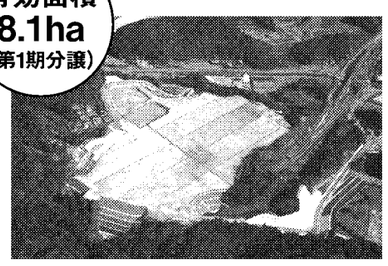
武雄市の優遇制度
◆「国内最大級」の用地取得補助金 最大6億円!
◆雇用奨励金(1人あたり50万円、最大1億円)
◆操業費用(水や電気などの使用料)を最大5,000万円補助

新産業集積エリア有田
(整備予定)



佐賀県の優遇制度 ※唐津市・武雄市の優遇制度に加え・・・
◆「補助金限度額」最大30億円、「補助率」最大36%の立地促進奨励金(投資額に対する補助)
◆「雇用者一人当たり」最大100万円の雇用促進奨励金(新規地元雇用に対する補助) ※県・市の優遇制度には投資金額・新規雇用人数等要件があります。

有効面積 8.1ha (第1期分譲)



新産業集積エリア唐津
◎優れた交通アクセスと強固な地盤を有する団地

唐津市の優遇制度
◆固定資産税の最大5年間免除+5年間半額
◆雇用奨励金・配置転換者等奨励金などの補助
◆太陽光発電施設整備費補助

新産業集積エリア鳥栖
(整備予定)

●佐賀県へご進出後は、指名いただいた職員が「企業誘致パーマネントスタッフ」として、永続的に誘致企業様のフォローアップをいたします。

佐賀県 企業誘致本部 企業立地課
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59
0120-218-385 TEL(0952)25-7097 FAX(0952)25-7384
E-mail:kigyouricchi@pref.saga.lg.jp

首都圏営業本部(佐賀県 企業誘致東京本部)
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
TEL(03)5212-9199

関西・中京営業本部(佐賀県 企業誘致大阪本部)
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900号 大阪駅前第1ビル9階
TEL(06)6344-8031

佐賀県 企業立地 検索

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/